

ぜん 全

しん 進

全員で 進もう!



確かな学び通信
2026.4.15

図工の授業びらき

昨日、図工専科の先生から「図工の最初の授業で本を活用して行います」と教えていただきました。昨年度も図書館資料を活用し、家庭科の授業実践を進めてくださったので、早速授業を見せていただきました!今回は、図書館資料を活用し、単元のつながりを意識した実践を共有いたします。

活用した図書館資料は、「いろいろへんないろのはじまり」(アーノルド・ローベル作)という絵本です。作者を見てピンときた方も多いと思います。2年生の物語教材「お手紙」の作者です。子どもたちも作者を見て気づき、ぐっと作品に興味がありました。ちょっとした国語とのつながりを作るのがすてきだなと感じました。

この絵本は、灰色だった世界に魔法使いが青・黄・赤を生み出し、混ぜり合うことでカラフルな色合いが生まれる過程を描いたものです。いろとりどりの世界の中で日常を送っているすばらしさや、赤・青・黄からさまざまな色がつくられていることをこの本から共有していました!



ただ赤を塗っているだけでも、水分量で色が変わることに驚いたり、はみ出さずに塗れて喜んだり、**気持ちが高まったからこそ**でてきた子どもたちの姿だったと感じました。

2色混ぜて塗っているときには、2色の割合で色が変わることを友だちと見比べながら気づいていました。「こっちは濃い抹茶で、そっちは薄い抹茶やな!」など、楽しそうに話しながら色のちがいを感じ取っていました。

この後の作品では、自分のイメージにあった色を使って塗る活動があるそうです。いろいろな色を作る楽しさ、そこからイメージをふくらませるおもしろさを体感し、**次の作品づくりにつなげる工夫**がありました!!!



昨年度から、専科の通信の発行も行っています。**通信を通して学びの共有を行う**のは、担任の先生方の通信でも取り入れられる部分だなと感じました!

お忙しい中
ありがとう
ございました!